

自賠責保険新旧保険料対照表

車種	適用	12ヵ月契約		24ヵ月契約	
		新保険料	旧保険料	新保険料	旧保険料
自家用乗用車		¥16,350	¥15,110	¥27,840	¥24,950
自家用普通貨物自動車	積載2t超	¥35,730	¥35,620	¥66,220	¥65,580
	積載2t以下	¥24,040	¥24,150	¥43,090	¥42,850
自家用小型貨物		¥17,270	¥14,190	¥29,680	¥23,130
軽自動車(検査対象)		¥15,600	¥13,600	¥26,370	¥21,970

自賠責保険料は、累積利益をドライバーに還元するとの理由で平成二十年四月に全車種平均で二十四・一%下がったが、その後、医療費の請求が増えたことなどから、累積赤字が予想以上に膨らみ保険収支が悪化。金融庁は、平成二十三年の引き上げに続く今回の値上げで、ほぼ収支が一致するとみ

自賠責保険料は、累積利益をドライバーに還元するとの理由で平成二十年四月に全車種平均で二十四・一%下がったが、その後、医療費の請求が増えたことなどから、累積赤字が予想以上に膨らみ保険収支が悪化。金融庁は、平成二十三年の引き上げに続く今回の値上げで、ほぼ収支が一致するとみ

自賠責保険料四月から引き上げ
軽自動車は約二割の値上げ

金融庁はこのほど自動車損害賠償責任保険審査会を開き、平成二十五年の自賠責保険料を平均で十三・五%引き上げることを選定した。値上げは平成二十三年度以来、二年振りで四月一日始期の契約分から実施する。

主な車両別の保険料は、二十四ヵ月契約の場合、自家用乗用車(沖縄・離島を除く)が二九〇〇円(一割弱)引き上げられ、二万七八四〇円、事故率の高い軽自動車は四四〇〇円(約二割)引き上げられ、二万六三七〇円となる。また、十二ヵ月契約の積載量二トンを超える営業用トラックは一一三〇円上がり、九万四三〇〇円となる。



発行所
北海道自家用自動車協会連合会
編集兼発行人 林 雄 三 郎
札幌市東区北三〇東一(郵便番号〇六五〇〇三〇)
電話(〇一一)七二一―四五七八
支局 札幌・函館・室蘭・旭川・帯広・釧路・北見
定価 一部三〇円(会員の方は会費に含まれています)

平成二十五年の自賠責保険料は、昭和三十年に制定された「自動車損害賠償法」に基づき支払われる。万が一、自動車事故により他人を死亡させた場合、最大で三千万円、また事故により被害者に後遺障害を負わせてしま

自賠責保険料は、昭和三十年に制定された「自動車損害賠償法」に基づき支払われる。万が一、自動車事故により他人を死亡させた場合、最大で三千万円、また事故により被害者に後遺障害を負わせてしま

自賠責保険料は、昭和三十年に制定された「自動車損害賠償法」に基づき支払われる。万が一、自動車事故により他人を死亡させた場合、最大で三千万円、また事故により被害者に後遺障害を負わせてしま

自賠責保険料は、昭和三十年に制定された「自動車損害賠償法」に基づき支払われる。万が一、自動車事故により他人を死亡させた場合、最大で三千万円、また事故により被害者に後遺障害を負わせてしま

自賠責保険料は、昭和三十年に制定された「自動車損害賠償法」に基づき支払われる。万が一、自動車事故により他人を死亡させた場合、最大で三千万円、また事故により被害者に後遺障害を負わせてしま

自賠責保険料は、昭和三十年に制定された「自動車損害賠償法」に基づき支払われる。万が一、自動車事故により他人を死亡させた場合、最大で三千万円、また事故により被害者に後遺障害を負わせてしま

トヨタレンタカーは、ハイブリッドのレンタカー保有No.1*

新料金スタート!! 「ハイブリッドクラス」はじめました!!

4月1日より新料金「ハイブリッドクラス」をスタートしました。アクアやプリウスをはじめとした全話題のハイブリッドカーがさらにご利用しやすくなりました。ぜひご利用ください。

PRIUS スタンダードクラス
AQUA コンパクトクラス
CAMRY プレミアムクラス

TOYOTA 乗りたいた時に、乗りたくるま
トヨタレンタカー

平成25年 春の全国交通安全運動

実施期間 4月6日(土)～4月15日(月)

年間スローガン ストップ・ザ・交通事故死を止めさせ 安全で安心な北海道

重点目標

- ・新入学児童・園児等や活動期に入る自転車利用者の事故防止をはじめ、左記の活動を推進する。
- ・高齢者の交通事故防止
- ・スピードの出し過ぎ防止
- ・全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用・飲酒運転の根絶

毎月15日は 『道民交通安全の日』

TOYOTA Rent a Car

レンタカーでエコドライブ。そんなお客さまが増えています。

Economy! たとえば、コンパクトカー(HV)のアクアなら...

「ご利用料金」が魅力的!! (税込/基本料金) 6,300円~/6時間

驚きの「低燃費」!! ●JC08モード** 35.4 km/L

料金等の詳しい情報はこちら <http://www.toyotarenta.com/>

お電話でのお問い合わせはこちら トヨタレンタリース旭川 Tel.(0166)57-0100

「ラク楽eメンバー」入会でさらにおトク!!

個人様向けトヨタレンタカー会員制度 「ラク楽eメンバー」入会受付中!!

キャンペーンの詳しい内容は、ホームページ「トヨタレンタリース」をご覧ください

トヨタレンタリース予約センター 0800-7000-1111

ホームページ「トヨタレンタリース」 www.toyota.co.jp/rent/

株式会社トヨタレンタリース旭川 (本社) 旭川市東廣橋4線10号1番地8

旭川店 Tel.(0166)57-0100 大宮店 Tel.(0166)34-0100 深川店 Tel.(0164)23-0100 稚内店 Tel.(0162)22-0100
旭川空港店 Tel.(0166)83-3701 富良野店 Tel.(0167)23-2100 利尻店 Tel.(0163)89-2300 釧路空港店 Tel.(0154)29-3100
旭川駅前店 Tel.(0166)23-0100 士別店 Tel.(0163)82-1100 利尻苫小牧店 Tel.(0164)43-0100
忠和店 Tel.(0166)61-0100 各客店 Tel.(0165)43-0100 札文店 Tel.(0163)86-1117 トラム店 Tel.(0167)58-1001



第337号

旭川地方自家用自動車協会は交通安全運動を推進します

第2回 定時総会を開催

一般社団法人旭川地方自家用自動車協会

一般社団法人旭川地方自家用自動車協会は、平成二十五年二月二十七日午後三時から花月会館に於いて、北海道警察旭川方面本部長を始め、北海道運輸局旭川運輸支局、旭川中央警察署、旭川東警察署等関係者多数のご臨席を得て、第二回定時総会を開催しました。

来賓を代表して、松原宏伸北海道警察旭川方面本部長より、「交通安全活動への取り組みと警察行政に対するご理解・ご協力への謝辞と、今後も引き続き交通安全活動のお力添えをお願いしたい」と本間一治北海道運輸局旭川運輸支局首席企画専門官より、「自動車検査・登録に関する業務と広報活動や交通安全への啓発・更に優良運転者表彰などユーザーサービスの向上に貢献されていることに対し敬意を表する」との挨拶がありました。

このあと、議案の審議に入り、「平成二十四年度に係る報告」、「平成二十五年年度会費の額並びに徴収方法に関する件」、「役員報酬の限度額に関する件」。さらに、平成二十五年年度事業計画・収支予算書に関する報告が行われ、いずれも原案通り承認可決されました。平成二十四年度の主な事業概況及び平成二十五年年度事業計画並びに予算額は、次の通りです。

平成二十四年度事業概況

第二回定時総会に当たり、会員の皆様には協会の事業活動に對しまして格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、東日本大震災からの復興が急がれる中、昨年の我が国経済は、長引くデフレや円高、電力・エネルギー問題に加え、欧州の債務危機、新興国の景気減速等の影響などから厳しい状況が続き、国民生活においても将来不安が増すなど閉塞感が深まっております。また、昨年の八月には、消費税増税を柱とする社会保障・税一体改革関連法案が成立。消費税率は平成二十六年四月に8%、二十七年十月に10%へ二段階で引き上げられることになりました。社会保障と税の一体改革においては、自動車取得税・自動車重量税などの自動車関連諸税の抜本的な見直しについて、三党合意がなされ、自動車

取得税及び自動車重量税の廃止を含めた負担軽減が確実に実現されることを強く期待しているところであります。昨年の国内新車販売台数はエコカー補助金制度の再開や減税効果などにより、登録自動車が一億九千九百九十七台となり、合計で五億三千六百六十一台と二年振りにプラスとなりました。当旭川運輸支局管内においても、登録自動車が一億七千五百一十五台と前年より三六八四台増加、軽自動車も九六二台と前年より二六三三台増加、合計で二億七千三百八十八台と前年より一七三三台増加となりました。しかし、新車の販売台数は、九月のエコカー補助金の支給終了によって減少に転じています。

経済活動や日常生活において必要不可欠となっている自動車は、その一方で交通事故という社会問題を引き起こしています。昨年の交通事故

による死者数は、全国で前年より二〇一人少ない四四一人と二年連続で減少となりました。道内においては二年連続で交通事故死亡事故全国ワーストワンを回避したものの、前年を十人上回る二〇〇人もの尊い命が犠牲となり、大変残念な結果となりました。



平成24年度 第2回定時総会

協会では、交通安全推進事業を重点として取り組み、新入学児童を交通事故から守る交通安全グッズの寄贈活動や優良運転者の表彰、交通安全旗・啓発資材の配布、街頭啓発活動、交通安全広報活動などを行い交通安全の抑止に努めました。また、道警旭川方面本部と高齢歩行者の交通事故防止対策やドライバーの遵守実践すべき事項を啓発する「まもる運動」等、連携をもつて取り組み、啓発資材等の寄贈も行いました。

支局、北海道警察旭川方面本部及び関係機関・団体と連携を図り、積極的に交通安全の抑止、交通安全活動に取り組みました。当旭川管内においては、人身交通事故発生件数及び傷者数ともに前年より減少することができ、死者数も三七人に止め前年を四人減らすことができました。

会員は、北海道警察旭川方面本部及び関係機関・団体と連携を図り、積極的に交通安全の抑止、交通安全活動に取り組みました。当旭川管内においては、人身交通事故発生件数及び傷者数ともに前年より減少することができ、死者数も三七人に止め前年を四人減らすことができました。

また協会では、新入学児童を交通事故から守る活動として、反射付き学童黄傘を旭川市に二五〇〇本、深川市に一四〇〇本を贈り、雨の日の交通安全に活用頂きました。新年度においても新入学児童の交通事故防止対策、優良運転者の表彰など交通安全の抑止、交通安全の推進活動を積極的に取り組んで参ります。

サポート・ユア・カーライフ

一般社団法人 日本自動車連盟 旭川支部

ロードサービス救急コール

車・バイクの故障、トラブルの受付
[全国共通・24時間年中無休]

0570-00-8139

通話料は有料(固定電話は1分/10円、携帯電話は20秒/10円)。ただし、PHSと一部のIP電話等からはご利用になれません。
※携帯電話からおかけの場合、基本使用料金に含まれる無料通話分の対象とはなりません。

または、
シャープハイワンキューブ
#8139

通話料は有料、ダイヤル回線の固定電話、一部のIP電話等からはご利用になれません。
携帯電話・メール通話料は、この案内からお問い合わせください。

総合案内サービスセンター

ロードサービス以外の手続きサービスなどのご案内

[全国共通・年中無休] 平日9:00～19:00
土日・祝・年末年始9:00～17:30

0570-00-2811

通話料は有料。ただし、PHSと一部のIP電話等からはご利用になれません。
※携帯電話からおかけの場合、基本使用料金に含まれる無料通話分の対象とはなりません。

**入会申込は近隣の自動車販売店
または支部窓口へ**

カーライフの
もしもをトータルサポート
北自共のカーパック

自動車共済・自賠償共済のお問い合わせは ☎(0166)53-8186

北海道自動車共済協同組合 旭川支部

旭川市春光町10番地 FAX (0166) 53-2320

本部：札幌 他支部：札幌・函館・室蘭・釧路・北見・帯広

～全国自動車共済協同組合連合会ネットワーク～

北自共・東北自共・関自共・中部自共・近畿自共・西自共

ザー等に無料で配布するとともに、ホームページにも掲載し、広く情報提供を行いました。

三、自動車登録番号標の封印取付事業

(1)封印取付業務
協会では、北海道運輸局旭川運輸支局長より封印取付委託を受け、同管内における自動車登録番号標(ナンバープレート)への封印取付業務を行いました。

二十四年度の封印取付状況は、ナンバープレート交付に伴う車両への施封が一万四三九一両で前年比一〇二二両の増加。また、破損等に伴う車両への再封印については一、二二八両で前年比二〇三両の増加となりました。

自動車登録番号標への封印取付車両数

施封内容/ナンバー	旭川	道内他管内	道外	合計
ナンバープレート交付に伴う封印	12,981両	1,410両	不可	14,391両
破損等に伴う再封印	1,120両	96両	12両	1,228両
合計	14,101両	1,506両	12両	15,619両

四、自動車登録番号標の交付及び希望番号の予約受付事業
協会では、国土交通大臣の指定を受けた自動車登録番号標(ナンバープレート)の交付代行として、旭川運輸支局管内における登録自動車のナンバープレート交付に係る業務を行いました。

二十四年度の総交付枚数は、年間の新車販売台数が前年を上回ったことから、七万九八〇七枚(一万三〇九枚、一四・八

自動車登録番号標交付実績対比表

事業年度	一般プレート	希望プレート	合計
24年度	47,322枚	32,485枚	79,807枚
23年度	42,702枚	26,796枚	69,498枚
増(Δ)減	4,620枚	5,689枚	10,309枚

(2)希望番号の予約受付業務
旭川運輸支局管内の登録自動車に関する希望ナンバー業務について、協会では、希望ナンバー予約センターを設置して予約受付等業務を行いました。希望ナンバー制度は、自動車ユーザーの「こだわりの番号」をマイカー購入等において広く利用されています。

二十四年度の予約件数は前年より増加し、前年より二八六四件増の一六六五五九件となりました。

希望ナンバー予約受付件数対比表

事業年度	窓口受付	送付等受付	インターネット受付	合計
24年度	14,376件	623件	1,560件	16,559件
23年度	11,698件	598件	1,399件	13,695件
増(Δ)減	2,678件	25件	161件	2,864件

五、自動車の手続き、軽自動車税の申告、自動車申請書類発行、印紙類の売捌き事業
協会では、登録自動車の持込み検査に伴う受付業務を行うとともに申請書類の確認、整備工場から持ち込まれる指定検査書類の確認、構造変更や緩和申請などの業務を正確迅速に行いました。

検査確認処理件数は、持込検査が三万四一九一台で前年比三九一台増と僅かながら増加しましたが、指定検査では二万五五七台と前年比一八二七台の減となり、合わせた検査処理件数は前年より一四三六台減少となりました。要因としては、エコー補助金による新車への乗り換え、登録自動車から軽自動車へのシフト、厳しい経済状況等によるものと考えます。

(2)軽自動車税の申告等に関する業務
協会では、ユーザー利便向上及び円滑な地方自治・税務行政に協力す

るため、軽自動車申告事務処理協議会(旭川町村会)と委託契約を締結し、旭川運輸支局管内における小型二輪自動車の軽自動車税申告書提出に係る窓口業務を行いました。

また、当協会職員を軽自動車申告事務処理協議会の指定職員として登録、地方自治体における小型二輪自動車移動状況等の調査について、同税務担当者に代わり指定職員が調査・報告を行い税務行政の付託にも応えました。

(3)自動車申請書類の発行業務
当協会では、登録管理ネットワーク株式会社並びに株式会社JCMの二社から委託を受け、信販会社からの書類を代理発行し、ユーザー利便を図りました。

本年度は、新たにピー・エム・ダブリュー・ジャパン・ファイナンス株式会社との取扱いが加わり、書類発行件数は、登録管理ネットワーク株式会社に係る信販会社分が一九一〇件(登録自動車一四四五件、軽自動車七六五件)、株式会社JCMに係る信販会社分が七六七件(登録自動車六〇七件、軽自動車一六〇件)で、合計二六七七件を発行。前年比で一〇四・五%、一六件の増加となりました。

(4)自動車に係る印紙・証紙等の売捌き業務
協会では、申請手続きに求められた方の利便を図るため印紙・証紙の取扱いを行っております。

自動車重量税印紙の売捌きは、総額で四億一七〇二万四千円、前年より六・七%、二億九百九十八万円の減となりました。売捌き額減少の要因は、平成二十四年度税制改正による自動車重量税の減免措置が更に強化されたこと、減税効果の高いエコカーの普及促進が図られたことなどが影響していると考えます。

協会では、印紙・証紙の売捌き業務を正確かつ迅速に行い利用者利便の向上と円滑な自動車行政に協力しました。

六、自動車保険代理所等事業
協会では、自動車の登録関係などに来られたお客様に対し、協会窓口において自賠責保険(共済)のご加入手続きなどスムーズに行えるよう保険代理所業務を行い、自動車ユーザーの利便向上に努めました。また、交通事故に関する無料相談業務では、相談に来られたお客様に適切なアドバイスを行い支援に努めました。

七、優良運転者表彰事業
協会は、会員及び会員事業所の運転業務従事者の運転マナーの向上と交通安全思想の普及を図り、以って交通事故を一件でも減らすことを目的として、本年度も優良運転者表彰事業を実施しました。

運転経歴五年以上から五十五年以上までの表彰区分十一段階に分け審査選考を行い、推薦のあった九五名全員を表彰しました。

(2)北海道自動車共済協同組合旭川支部に関する業務
協会では、北海道自動車共済協同組合旭川支部として、支部代理所の取り纏めを行いました。

また、自動車損害賠償責任共済金の変更はありませんでしたが、今後、段階的に実施される予定となつてい

自動車共済・自賠責共済契約実績件数表

共済年度	自動車共済												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
24年度	289	247	357	496	472	376	386	383	313	290	351	310	4,270
23年度	230	271	482	518	388	388	430	326	244	243	353	360	4,233
増(Δ)減	59	Δ24	Δ125	Δ22	84	Δ12	Δ44	57	69	47	Δ2	Δ50	37
24年度	181	212	414	412	444	420	384	297	292	344	277	254	3,931
23年度	147	207	396	384	449	419	402	279	280	329	244	242	3,778
増(Δ)減	34	5	18	28	Δ5	1	Δ18	18	12	15	33	12	153

八、その他の事業等
(1)関係官庁、各関係団体並びに会員との連絡協議に関する業務
協会は、会員並びに自動車ユーザーの利便増進と公共の福祉向上を図るため、関係官庁及び関係諸団体等と連携を図り、諸活動を積極的に展開致しました。

交通安全活動については、新入学児童を交通事故から守るため啓発グッズを旭川市と深川市に寄贈、道警旭川方面本部には高齢歩行者の交通事故を防止するための夜光反射材等啓発資材の寄贈を始め、ドライバーが遵守すべき事項を啓発する「まもる運動」にも資材等を寄贈して協力。また、街頭検査、踏切事故防止キャンペーン、飲酒運転撲滅やデイトライト運動などの啓発も積極的に推進しました。また、旭川地区不正改造防止推進協議会の構成員として、旭川運輸支局とともに整備不良等による自動車事故の防止や公害防止を図るべく啓発と推進に努めました。

更に、自家用自動車に係る税制面では、公平な負担と自動車ユーザーの負担軽減について、政府等関係機関に上部団体を通じて要望書を出すとともに、自動二輪の軽自動車税に係る税申告の提出窓口業務を行い、市町村からの同課税に係る調査依頼等についても調査・回答を行いました。地方自治体の税務行政にも寄与しました。会員については、機関紙である北海道自家用新聞やホームページ等で自動車の安全に関する情報や関係法令等の改正情報など、最新の情報の提供に努めました。

(2)個人情報保護に関する取組
会員の皆様及び協会を利用する皆様からお預かり致しました個人情報、法律・条令及び当協会の個人情報保護に関する基本方針等を遵守し取扱いました。

会員の個人情報につきましては、入会申込書に個人情報の取扱いを明示頂いております。個人情報の管理は、電算システムでのデータベース管理で行い、各端末にはデータ保存をすることができない物理的安全管理措置及び技術的安全管理措置を講じ、皆様が安心していただける体制づくりに努めました。

一般社団法人 旭川地方自家用自動車協会 平成二十五年事業計画並びに予算

- 一、交通安全及び日常・定期点検整備推進事業
 - 二、自動車登録番号標の封印取付事業
 - 三、自動車登録番号標の交付及び希望番号の予約受付事業
 - 四、自動車の手続き、軽自動車税の申告等、自動車申請書類発行、印紙類の売捌き事業
 - 五、自動車保険代理所等事業
 - 六、優良運転者表彰事業
 - 七、その他の事業
- ・関係官庁、各関係団体並びに会員との連絡協議に関する業務
・事業目的達成に必要なその他の業務
・個人情報の保護に関する取組み
- 事業予算総額 二七六、四七四、〇〇〇円

一般社団法人 旭川地方自家用自動車協会 平成二十五年会費の額並びに徴収方法

- 会費(年度始めに徴収)
- 正会員
 - 入会金(入会時のみ) 五〇〇〇円
 - 年会費 三〇〇〇円
 - 賛助会員
 - 年会費 二〇〇〇円

※正会員とは一般法人(団体)の代表者、正会員から推薦された者、その他個人等で当協会の所定の申込書と入会金、年会費を納入した者であり議決権を有する。

※賛助会員とは正会員以外のもので議決権を有せず、当協会の所定の申込書と年会費を納入した者をいう。

尚、協会費納入には次の預金口座又は振替預金口座を御利用願います。

◇普通預金口座 北海道銀行旭川支店 番号 一二九三四五八
◇振替預金口座 小樽預金事務センター 小樽 〇二八七〇七一六八

平成二十四年交通事故年間死者数 十二年連続して減少 四五〇〇人を下回る

警察庁

警察庁のまとめによると、平成二十四年中の交通事故死者数は昨年よりも二〇一人少ない四四一人で、十二年連続して減少したことが分かった。

交通事故発生件数は六六万四九〇七件、負傷者数は八二万四三九人となり、ともに八年連続の減少となった。

死者のうち六十五歳以上の高齢者は前年より二人増加し二二六四人。交通事故死者数に占める割合は五・三％と半数以上を占めている。「世界一安全な道路交通を実現する」ためにも高齢者への事故対策が大きな課題となっている。

死者数を都道府県別に見ると、最多は愛知県で二三五人、次いで北海道と埼玉県で二〇〇人、東京都一八三人、大阪府一八二人という結果だった。

逆に少なかったのは、鳥取県三〇人、徳島県三三人、山形県と福井県の三七人だった。

道内の状況については、死者は前年より一〇人多い二〇〇人、交通事故件数は一万四九七三件(前年比一四二件減)、負傷者数一万八〇四六人(同一六五九人減)だった。

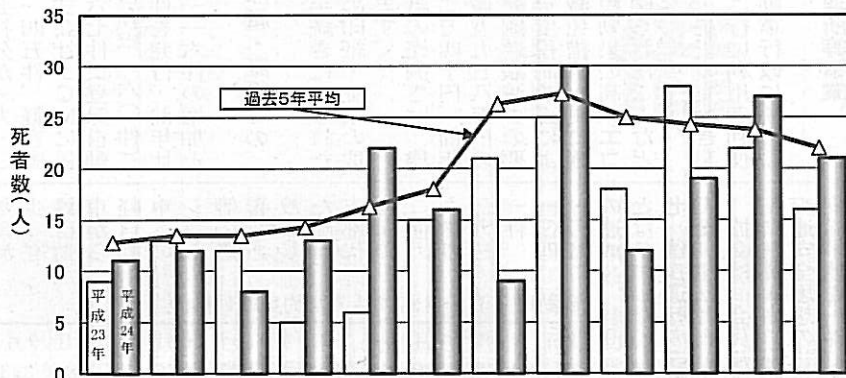
十年前と比較すると、死者数は半数以下に、発生件数も半数ほどになっている。

前年と異なった死亡事故の主な特徴としては、非市街地の直線での事故、正面衝突の事故が多かったことがあげられる。その他の特徴としては、発生時間が十六時十八時、高齢運転者が当事者となる事故が多い、前方不注意によるものが多い、高齢者の死者が多いなどがあげられるが、これらの特徴は前年同様となっている。

月別の死亡事故件数に注目してみると、四・五月に大幅に増加し、八・十一月も五年平均を上回った。

四月は若年運転者、五月は高齢運転者が当事者となる事故が多発。八月は四〇歳代の当事者が増加、違反別では過労運転が大幅に増加した。

北海道内の月別交通事故死者数



区分/月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成24年度	11	12	8	13	22	16	9	30	12	19	27	21	200
平成23年度	9	13	12	5	6	15	21	25	18	28	22	16	190
過去5年平均	13	14	14	14	16	18	26	27	25	24	24	22	227

『超小型モビリティ』 国交省が認定制度を創設

国土交通省はこのほど超小型モビリティの公道走行を可能とする認定制度を創設し発表した。それによると現行の軽自動車の規格よりも小さい大人二人乗りの新たな乗り物のカテゴリーとして道路運送車両法の保安基準、第五十五条第一項に基づき基準緩和を適用し、定格出力は八キロワット以下、高速道路などは運行できないとした。

また、国交省は市販化に向けたモニター試験も同時に開始しており、今後二年間の試験結果を踏まえて来年迄に車両の安全基準を策定する予定である。超小型モビリティの発売は早くも平成二十七年とみられている。

ターゲットは高齢者や子育て世代

超小型モビリティは一人二人乗りの新たな規格の自動車。国交省の「導入ガイドライン」によると、長さ、幅及び高さは軽自動車の規格内、乗車定員は二人以下のもの

税金や保険料など維持費が必要。当然、超小型モビリティにも税金

OSS対象手続拡大

全国展開は平成二十九年年度までに

国土交通省などが推進する自動車保有関係手続のOSS(ワンストップサービス)について、平成二十六年度から対象手続を拡大し、二十九年度までに全都道府県を対象地域とする方針であることがわかった。国交省は、OSSを利用することへのメリットを理解してもらい、利便性の向上と対象地域の拡大に、これまでに以上に取り組みしている。

自動車の保有に伴い必要となる検査・登録・車庫証明、自動車諸税の納税などの行政手続をオンラインで可能とするOSSは、国民の負担軽減や行政事務の効率化などを図ることを目的に、平成十七年十二月二十六日にスタートした。当初は、電子個人認証の前提となる住民基本台帳カードが普及しなかったことから申請率が低迷していたが、現場の使い勝手や改善要望などを反映させ、細かいシステム改修を行い、新車の流通が不安定となった東日本大震災直後を除き、申請率は大幅に上昇している。

現在、東京都や大阪府など十都府県が対象地域となっており、四月から奈良県が加わることになっている。

OSは、国交省、総務省、警察

保有関係手続のOSS(ワンストップサービス)について、平成二十六年度から対象手続を拡大し、二十九年度までに全都道府県を対象地域とする方針であることがわかった。国交省は、OSSを利用することへのメリットを理解してもらい、利便性の向上と対象地域の拡大に、これまでに以上に取り組みしている。

自動車の保有に伴い必要となる検査・登録・車庫証明、自動車諸税の納税などの行政手続をオンラインで可能とするOSSは、国民の負担軽減や行政事務の効率化などを図ることを目的に、平成十七年十二月二十六日にスタートした。当初は、電子個人認証の前提となる住民基本台帳カードが普及しなかったことから申請率が低迷していたが、現場の使い勝手や改善要望などを反映させ、細かいシステム改修を行い、新車の流通が不安定となった東日本大震災直後を除き、申請率は大幅に上昇している。

現在、東京都や大阪府など十都府県が対象地域となっており、四月から奈良県が加わることになっている。

三月は大変込み合います 車の手続きはお早めに

お知らせ

例年、三・四・五月は自動車の登録・検査の手続きが一年のうちで最も込み合います。

特に三月は課税年度が変わるため運輸支局等が毎年大変混雑します。

名義変更、住所変更、廃車手続きをお忘れではありませんか。書類等の不足もありえますので、手続きを予定の方は早めにご来店ください。



愛車に好きなナンバー つけてみませんか?

希望できるナンバーの区分

- ①4桁以下のアラビア数字の部分のみが自由に選べるようになります。
- ②特に人気が高いと考えられる右記の13通りのナンバーについてはコンピューターによる抽選とします。(月～金曜日受付分を原則として翌週月曜日抽選)
- ③一般希望ナンバーについては、ナンバーがなくなる限り申込みに応じて払出します。

旭川590
さ41-78

4桁以下のアラビア数字
選べるのは
ここです!

抽選対象希望番号

1	7	8	88
333	555	777	888
1111	3333	5555	7777
8888			

インターネットからも予約できます。
アドレス <http://www.kibou-number.jp/>

詳しくは「旭川自家用」と入力して
検索して下さい。

旭川自家用

予約問い合わせは
《希望ナンバー予約センター》まで

(一社) 旭川地方自家用自動車協会
TEL(0166)51-1221